

平成 28 年 9 月 22 日

株式会社 三浦電機 御中

「北海道ウインドファーム豊富風力発電事業環境影響評価配慮書」について
以下のとおり意見書を提出いたします。

特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク
代表理事 高瀬 清
北海道天塩郡豊富町字豊富東 2 条 5 丁目

日本野鳥の会道北支部
支部長 小杉 和樹（公印省略）

■基本的な考え方

・私たちは風力発電による自然再生可能エネルギーの利用の重要性を認識しております。ただ、欧州などの自然再生可能エネルギーの先進国の例を見ますと、風力発電事業を行うに当たっては、地域の自然や産業と共存することを目的としたゾーニングを元に、適地を選定した上で事業計画が進められています。しかし、国内においては、自然再生可能エネルギーの推進が図られているにもかかわらず、現在まで調査に基づいたゾーニングの選定が行われていません。宗谷・留萌地方においては風況の良さと送電線の新設計画を元に、住民や利用者・地域の団体が懸念する影響が十分に考慮されないまま、無秩序に事業計画が進行しております。この状況の中で、経済産業省は環境影響評価の審議期間の短縮を推進しているようですが、現状で明らかになっていない風力発電事業による野生生物への影響、人畜への健康被害、観光産業への影響を総合的に検討するためには、全体的なゾーニングを行った上で、むしろ慎重に審議すべきと私たちは考えています。

以下、環境保全の見地から、いくつかの項目について意見を述べさせていただきます。

■配慮書の縦覧方法

縦覧期間のみインターネット上で閲覧可能であるものの、ダウンロードや印刷ができません。誰でもいつでも内容確認のために閲覧できるように、インターネット上で配慮書のダウンロードや印刷が可能とするべきです。

■地元や関係者への説明

・風車建設は今後の地元がどう進むべきかを取り組むにあたって検討すべき重要な事項であるため、地元の環境保全団体である特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワークに対し、個別の説明を行っていただきたい。

■景観調査

利尻礼文サロベツ国立公園とその周辺には、国内最大の高層湿原があり、巨大な建築物が存在しないため、利尻富士だけでなく広く何もない景観を求めて多くの人々が訪れます。景観・植物・鳥類・哺乳類などいずれの目的の写真愛好家にとっても、人工物はないほうが望ましく、宗谷地方の観光資源である景観が大きく損なわれる可能性があります

本事業により風車建設計画が実施された際には、サロベツ国立公園から風車が視認されないか懸念しています。ここから芦川・豊富山の風車がたとえ少しでも見えることにより、サロベツ原野の景観や観光産業の価値が損なわれることが予測されます。また観光客は道路から見える景観を楽しみながら移動してくるので、従来の景観調査地点に限定せず、可能性のある場所は例えば道路上からも代表点で調査を行っていただきたい。

豊富山周辺は昔から歴史映画の戦場ロケ地となっており、最近では大河ドラマ「坂の上の雲」のロケ地として利用されました。また、豊富温泉に近い大規模草地として丘陵地の景観が広い牧草地の風景や星空の観察地として現在も利用されており、風車の存在やそれによる夜の照明は今後これらの利用ができなくなる、または大きく損なわれることによる観光資源が損なわれることが懸念されます。景観調査地点として大規模草地や沼川みのり公園が設定されていないので、追加していただきたい。

■鳥類

サロベツ地域にはオジロワシが多く繁殖しており、オジロワシ・オオワシの越冬場所でもあるため、営巣調査と、飛翔高度の行動圏調査を行い、その影響を調査していただきたい。ガン・カモ類についても渡り経路が計画地上にないか調査していただきたい。

■哺乳類

・バットストライク（コウモリの風車への衝突）が大きく懸念されます。これを避けるために、コウモリに関する詳しい調査を行っていただきたい

■他事業との複合的影響

- ・以上について他事業との複合的影響についても評価していただきたい。